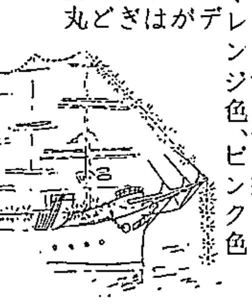
舵輪

1995.7.27 Vol.26

ドレスアップ・海王丸 水面に揺れる灯り

長く激しい雨が止み梅雨明けと同時に一気に夏がやってきました。連日の熱帯夜ですが、海王丸は七月二十二日からイルミネーションを行い、艶やかに、その姿を水面に揺らめかしています。この夏休み中、夜間も九時まで甲板上を公開しておりますが、船上に夜風が涼しくそよぎ、真鍮に映る無数のライトがやわらかに光り、なかなかロマンチックなシーンを提供しています。梅雨明けの夕空は、鮮やかな紅色を見せ日没とともに、オレンジ色、ピンク色そしてゆっくりとインディゴブルーのカーテンが空をおおっていくさまは本当に見事で時間の過ぎるのを忘れてしまうほどです。ぜひ、夜の海王丸も見に来て下さい。



投稿『内川探訪記』

ミズンマストのみの虫

さる、五月三日（憲法記念日）商船高専のカッターで念願の内川探訪を行うことが出来た。

悪天候で二回も実現しなかったが三年目の正直で当日はうす曇、弱い西よりの風で少々の波がありました。カッターは去年練習船日本丸寄港以来のことでぶっつけ本番の漕艇で港内では向かい風で少々きつかった。

内川に入るや新緑の両岸に舫ったいずれも白一色の釣り船、レジャーボート、漁船の間をすいすいと漕いでゆき、ご存知名物橋の下をくぐり抜ける。

この間、雨宮会長の流暢な名ガイドぶりに参加の乗員一同は大満足、いろいろ質問も出ました。水上からみる両岸、くぐり抜ける橋は通行するだけで視点の違った風景が印象的であった。内川は北前船の交易を支えた小ぶりの舟が物資を本船へ運び町には活気が満ちていたという。その名残りとどめる土蔵や倉庫が点々と残っており先人の生活の一端が偲ばれた。放浪の画家スペインのセラン・バガンさんが内川の風景に魅せられて三度も写生にきていると聞いた。この情調ある風景を地元の人があらためて見るべきで外来の方々にも自慢できる環境にし保存と整備に努力するべきだとつくづく思いました。

帰りは内川を抜けるや港内は追い風を利用し、艇旗をセール代わりに広げ持っているだけで快走・・オールを使うことなしで艇庫のある臨海実習場についた。

全く楽しい「水上散歩」でありました。

当日の拙作二句

「新緑に白ばかりなる舫いぶね」

「さつき川屋根ある赤い橋映し」

国民の祝日「海の日」 募集 シンボルマーク キャッチフレーズ

来年から「海の記念日」七月二十日は、海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日として、国民の祝日「海の日」となることになりました。これをうけ、「海の日」を祝う実行委員会では「海の日」のシンボルマークとキャッチフレーズを募集しています。募集要項は次のとおり

★シンボルマーク★

◇募集内容＝海の恩恵、海洋への期待感などをイメージさせる「海の日」を象徴するもの。

◇応募規定＝A4判の白いケント紙か画用紙を縦に使用。作品の大きさは一五×一五センチ以内、彩色は四色以内で、材料は自由。中央に作品を描き、下の余白には、①制作意図②氏名・年齢③住所・電話番号④職業または学校・学年を明記。未発表の作品であれば一人何点でも応募可。応募作品は返却しない。受賞作品の著作権は全て主催者に帰属する。

◇応募資格＝不問。グループでも可。

◇賞品＝最優秀賞（一点）百万円、佳作（七点）十万円。応募者から抽選で百人に特製テレホンカードをプレゼント。

◇締切＝九五年九月三十日（消印有効）

◇発表＝九六年一月新聞紙上などで発表。入賞者に通知。

◇応募・問い合わせ＝〒104 東京都中央区新川一－二三－一七 マリンビル 国民の祝日「海の日」を祝う実行委員会・シンボルマーク係

（電話03-3552-5961,FAX 03-3552-5963）

★キャッチフレーズ★

◇募集内容＝海の恩恵、海洋への期待感などをイメージさせる「海の日」をアピールするもの。

◇募集規定＝官製はがきにキャッチフレーズと①氏名・年齢②住所・電話番号③職業または学校・学年を明記。はがき一枚につき一点。未発表の作品であれば一人何点でも応募可。応募作品は返却しない。受賞作品の著作権は全て主催者に帰属する。

◇応募資格＝不問。グループでも可。

◇賞品＝最優秀賞（一点）三十万円、佳作（七点）三万円。応募者から抽選で百人に特製テレホンカードをプレゼント。

◇締切、発表＝シンボルマークの扱いに同じ。

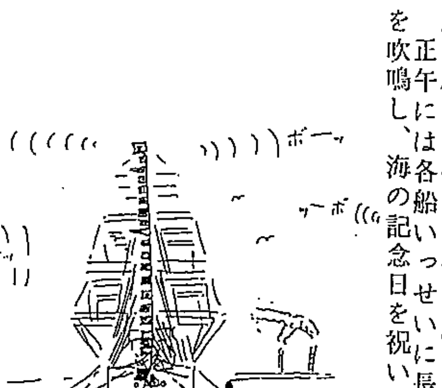
◇応募・問い合わせ＝住所、電話、FAXとも、同シンボルマーク欄、「キャッチフレーズ係」

チョッサーからのお知らせ

①海洋講座開催のお知らせ

好評いただいている海洋講座ですが、次回は八月二十七日、「海王丸の水辺の動植物」と題して富山県立大学の安田郁子先生に講演していただきます。次回も奮ってご参加ください。

②七月二十日の海の記念日は、満船飾を行いました。朝がたは雨模様の天気でしたが、午後からは時折薄日が差し、南よりの風に旗もきれいにたなびいていました。正午には各船いっせいに長長音の汽笛を吹鳴し、海の記念日を祝いました。



お願い

横浜日本丸の展帆に参加されるボランティアの皆さんへ。

事前にこちらから日本丸記念財団に連絡をしますので、横浜の日本丸の展帆に参加される方は、氏名、交通手段等を甲斐にまで連絡して下さい。また、日本丸の展帆については、許可していただけない場合もありますのでご了承下さい。

ボランティア

＝＝総帆展帆＝＝

ちょっと期間が空きましたが、六月四日、六月十八日、七月二日、そして七月二十三日の四回の展帆を行いました。梅雨時期は連日の雨で空模様を気にしながらでしたが、7/23日は待望の青空の下での展帆ができました。それにしても展帆日は不思議に雨が上がるんですね？

★データ

◆月日◇天候◇参加者◇その他

◆6/4◇曇り、強風◇六五名◇ポートタックスクェアヤード、展帆後畳帆、ステースルに

◆6/18◇曇り◇九六名◇スターボードタックスクェアヤード、九時から展帆

◆7/2◇曇後雨◇六五名◇スターボードタックスクェアヤード

◆7/23◇快晴◇七四名◇スターボードタックシャープアップヤード

海王丸パークの鳥たち

アオサギ

今回は、アオサギです。海王丸の左舷側の湿地で、身じろぎもせず魚をねらっている姿を見かけたことがあると思います。体の上面は青灰色で、頭は白く、額の両側から目の上を通り後頭でつながる黒色帯があり、後頭の羽毛は冠羽になります。また、首は灰色で前側中央には数本の黒い縦線があります。日本のサギ類の中では最も大きく、ゴァーといった声で鳴きます。飛ぶ姿は、両足をそろえ胸を突き出すようにしてゆったりとした感じです。

あとがき

長雨が上がり、暑い夏がやってきました。やっと我らの季節になったという感じがします。海王丸の横を走るヨットのように風をいっぱいに受けて快走してみたい気がします。さあ、みんなで海に出かけましょう。

DODO

DODO・ドードー

ペンネームに使っているDODOは鳥の名前で、かってインド洋のモーリシャス島にすんでいた、ガチョウほどの大きさの鳥のことです。ダチョウのように、羽が退化して飛べない鳥であったため、17世紀に絶滅しています。

練習船北斗丸で数年前モーリシャスに行ったときにこの鳥のことを知り、船内で使っていたペンネームを引き続き使わせてもらうことにしました。英語では、時代遅れの人、とんまといった意味がありますが、こうならないように努力したいと思います。